

令和6年度 事業報告書（案）

1 総 括

就労継続支援B型事業所きずなの職員体制は、施設長を始め常勤職員5名、非常勤職員8名の計13名体制で運営している。職員の給与・賃金等での処遇については、過去最大の上げ幅となった愛知県の最低賃金アップに加え、6年4月に改正された新たな処遇改善手当（ベースアップ手当との一体化）により、処遇の向上に努めている。

施設運営では、赤い羽根共同募金からの寄附を活用し、パソコン2台を増設した。月に一度の「学びの日」や休憩の際にパソコンを使う機会を増やすことで、利用者さんのITに関する基礎知識を高めることができた。これから就職を目指す利用者さんのスキルアップに繋がることも期待している。

利用者の安全確保では、防災訓練で、従来の地震・火事に加え、消防職員による救急法の講習を行いAEDの使い方や心肺蘇生の方法を学んだ。また、健康管理では、感染症の予防及びまん延防止対策として、職員・利用者全員参加によるノロウイルス感染等の実演研修を行った。利用者、職員共に真剣に取り組んでおり、今後も継続していきたい。

B型利用者は、20人定員のところ、23人の登録があり、平日は概ね20人程度の利用で推移し、年間を通じての利用状況は、営業298日間、1日平均16.7人の利用であった。関係機関への働きかけや就労支援の実績等が評価されてきた結果なのか、昨年度に引き続き、多くの施設見学及び体験の申込みがあり、見学21人、体験利用11人を受け入れた。この他、特別支援学校の教員や日本福祉大学の学生なども見学に来られた。

本年度は施設見学者2名と特別支援学校の卒業生2名が新たに利用を開始したが、就職等により従来からの利用者が4名減少したことにより、利用者の人数は前年度末と同数となっている。安定した利用者の確保には特別支援学校への働きかけが重要であるとともに、市内各方面への送迎対応の充実も課題となっている。

事業収入では、菓子販売においては、きずな喫茶スペースでの月1度の菓子販売のほか、各種マルシェや地域行事への積極的な出店、季節限定のシフォンケーキ、クッキー等の新商品の開発、作成など、販売機会の拡大と商品の充実を図った。また、ホームページでの商品紹介やInstagramでの情報発信による効果もあり、新たな企業から出張販売のオファーを受ける機会も増えている。ご愛用頂いている方々からの評判は総じて良く、今後も更なる品質向上を図りながら販売促進に努めていきたい。

なお、昨今の材料費の高騰により生産コストが大きく上がったため、令和4年12月以来、約2年振りに価格改定（値上げ）を行った。お菓子全体の売上は、前年度を10万円上回る373万円となり、前年に比べ収益は約1割向上した。

軽作業では、自動車関連部品の施設外就労が約1割の増益であった。また、室内作業においても、新規で㈱CACからの受注を開始したほか、従来の取引先企業から新たな業務を受注す

ることにより前年度を約1割上回る収益をあげることが出来た。

B型全体の就労収入としては、前年度の6,047千円に対し、569千円増の6,616千円であった。

就労への支援については、障害者相談支援センターやハローワークの情報を活用するとともに、施設外支援での実績を積んだ結果、3名が一般企業に就職した。また、利用者さんを対象とするビジネスマナー研修を月1で開催し、引き続き就労への支援の強化を図っている。

全体としては、B型事業の若干の収益アップに加え、国からの訓練費等給付費が16パーセント（5年度41,022千円から6年度47,765千円）増加したことにより、安定して事業運営をすることができた。

- 2 法人理念**
- ・ 1人ひとりを社会人として尊重すること
 - ・ 1人ひとりの能力を見つけ、引き出し、高めること
 - ・ 1人ひとりが支えあい、補い合うこと
 - ・ 1人ひとりが前を向いて生きていくこと

法人理念については、毎朝の職員朝礼にて復唱するとともに、廊下に掲示。さらに理念の内容をわかりやすく伝えるため、その解説を職員向け、利用者向けと分けて掲示している。

- 3 運営方針** 自立と社会経済活動への参加を促進するための支援を行い、障害にあった公平な作業環境を作り、地域とのかかわりを深めた健康で明るい職場を目指します。

- 4 重点目標** ①特別支援学校、関係機関・団体との連携を深め新規利用者の獲得に努める。

半田特別支援学校との関りでは、学校を訪問するなど教員との連携を強化するよう心掛けてきた。体験を随時受け入れるとともに、高等部の生徒に現場実習に参加してもらった結果、令和7年3月から1名、4月から1名の半田特別支援学校の生徒2名（男性）が利用を開始した。

また、障害者相談支援センターはじめ相談支援事業所とは、連絡を密にし、一般の方の見学や体験を随時受け入れた結果、令和6年4月から1名、7月から1名の計2名が新たに利用を開始した。

- ②利用者の将来的な自立を促すため、就職の支援と就職後の定着支援に努める

ハローワークをはじめ、半田市社会福祉協議会の就労部会等からの情報収集に努め、関係機関の協力を得ながら、職場見学、実習、面接への同行支援を行った結果、3名（男性2名、女性1名）が一般企業

に就職することができた。

就職後も継続して職員が職場訪問をして心のケアを行っており、現在も退職することなく順調に勤務することができている。

③虐待防止及び身体拘束適正化に関する意識向上を図るとともに、施設としての共通認識を職員間で共有するための研修を充実させ、利用者の権利を擁護するとともに、利用者への福祉サービスの向上を目指す。

「虐待防止対応規程」、「身体拘束等の適正化のための指針」に基づき、虐待防止委員会および、身体拘束等適正化委員会を2度（6年7月、7年2月）開催した。委員会では、他の福祉施設で発生した虐待案件について意見を出し合い、きずなで同様のことが起きないように職員の意識向上を図った。

また、半田市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会主催の研修に参加し、研修で得たノウハウを職員間で共有した（6年9月）。

- | | | |
|--------|------------------|-------------|
| 5 職員体制 | 施設長（管理者） | 1名（常勤） |
| | サービス管理責任者 | 1名（常勤） |
| | 事務員（内、生活支援員兼務1名） | 2名（非常勤） |
| | 職業指導員 | 3名（内、非常勤2名） |
| | 生活支援員 | 2名 |
| | 目標工賃達成指導員 | 2名（非常勤2名） |
| | 運転手 | 2名（非常勤2名） |
| | 合計 | 13名 |
- 6 勤務体制 「就業規則」の定めによる
- 7 利用者定数 定員20名
- 8 営業日 毎週月曜日から金曜日まで（土、日、祝日並びに12月29日から12月31日及び1月1日から1月3日までを除く）
ただし法人が必要と認めたときには変更することができる。
営業時間：午前8時30分から午後5時30分まで
サービス提供時間：午前9時から午後3時30分まで
- 9 会議
- （1）職員会議：月1回
 - （2）支援会議：月1回
 - （3）利用者シフト会議：月1回
 - （4）作業能力判定会議：3ヶ月に1回開催

10 職員研修等

- 4月5日：(社福)「役員・職員の方に一度は聞いて欲しい話」名古屋
- 5月2日：半田市の福祉サービスや社会資源を知ろう！ 市役所大会議室
- 5月28日：激震の報酬改定～就労系障害サービス ポイント解説 Zoom
- 6月7日：発達障がいについて 市役所大会議室
- 6月11日：2024年度愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修 名古屋
- 6月13日：社会福祉法人 会計セミナー「初級編」
- 6月25日：障がい者雇用フォーラム 雁宿ホール
- 7月8日：発達障がい児・者へのほめ方・しかり方 市役所大会議室
- 8月5日：「あしすと」就労支援における連携・協働 雁宿ホール
- 9月13日：障がい者虐待防止・身体拘束等の適性化に関する事業所向け
研修 雁宿ホール
- 3月25日：知多圏域就労支援担当者連絡会「あしすと」提携事業所・
就労移行支援事業所との連携 雁宿ホール

11 役員及び評議員会

- (1) 令和6年5月31日 監事監査
令和5年度事業の決算審査
- (2) 令和6年6月7日 役員会
補正予算(第3次補正)、5年度事業報告、5年度収支決算書、評議員会
への理事の推薦、評議員選任・解任委員の解任及び選任、次回評議委員
会の開催について審議、理事長職務の執行状況、5年度監事監査、業務継
続計画(BCP)の策定について報告
- (3) 令和6年6月26日 評議員会
令和5年度事業報告、5年度収支決算書、理事の選任について審議、5年
度監事監査、業務継続計画(BCP)の策定について報告
- (4) 令和6年11月20日 役員会
補正予算(第1次補正)について審議、理事長職務の執行状況、令和6
年4月～9月までの収支、愛知県指定障害福祉サービス事業者等運営指導、
利用者の一般就労について報告
- (5) 令和7年3月7日 役員会
- (6) 補正予算(第2次補正)、令和7年度事業計画、7年度収支予算書、職員
の勤務の延長、次回評議員会の開催について審議、理事長職務の執行状
況、令和6年4月～7年1月までの収支報告、半田市の指導監査におけ
る指導事項、職員給与規程の改正について報告
- (7) 令和7年3月26日 評議員会
7年度事業計画、7年度収支予算書、職員の勤務の延長について報告

12 行事、菓子販売等の実施報告

月	きずな行事等	菓子販売（イベント等）	その他
4 月	花見（七本木公園）		見学受入 1 名 体験利用 1 名
5 月		春の草花展（上池公民館） まんマルシェ	体験利用 1 名（7 月から利用開始） 見学受入 2 名 監事監査
6 月	防災訓練（火災） 買い物実習（赤のれん）、お仕事ガイダンス、障害者雇用フォーラム		見学受入 1 名、 体験実習受入 2 名（1 名が 7 年 4 月から利用開始） 役員会、評議員会
7 月	買い物実習（赤のれん）、 虐待防止・身体拘束等適正化委員会		見学受入 3 名（うち 1 名が体験） 体験利用 1 名
8 月	きずな縁日 救急法講習	横川夏祭り	
9 月			見学受入 1 名、体験利用受入 1 名（1 名が 7 年 3 月から利用開始）
10 月	利用者健診	ウェルマルシェ なちゆるるマルシェ	体験利用受入 2 名
11 月	利用者健診 職員健診 社会見学（名古屋市科学館）	海蔵寺マルシェ こころクリニック 上池公民館文化祭	きずな臨時営業（勤労感謝の日） 見学受入 1 名 役員会
12 月	クリスマス会 大掃除		
1 月	調理実習（亀崎公民館）		見学受入 2 名
2 月			見学受入 3 名
3 月	花見（七本木公園）、 感染症対策委員会	子育てフェスタ クラシカフェ 3 周年	見学受入 3 名、体験利用 1 名 役員会、評議員会

※菓子販売

- ・毎月：なちゆるる、衣浦電機製作所、半田市社会福祉協議会、デンソー阿久比、デンソーウェーブ、きずな喫茶スペース（第 2 水曜日）、クラシカフェ

- (クラシティ 1 階)、みんなのもりカフェ (半田図書館内)、竹内整形外科
- ・ 隔月：常滑市デンソーダイシン、日本ガイシ、ふれあいマルシェ (クラシティ 1 階、年金支給日)
 - ・ イベント (マルシェ)：上池公民館、まんマルシェ、横川夏まつり、海蔵寺、ウェルハート農園、なちゅらる、こころクリニック
 - ・ 随時：牧原治療院、地区の団体、上記以外の事業所、個人の注文 など

13 利用者数推移 (就労継続支援 B 型：定員 20 名)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数 (日)	26	28	24	27	28	25	27	26	24	20	20	23	298
実利用者 数(人)	25	25	24	25	25	25	25	24	24	22	22	23	289
延べ人数 (人)	425	437	411	455	440	422	467	403	397	357	355	406	4975
1 日平均 (人)	16.3	15.6	17.1	16.9	15.7	16.9	17.3	15.5	16.5	17.9	17.8	17.7	16.7

令和 5 年度 営業日 年 245 日、実利用者 302 人、延べ 4,793 人、1 日平均 19.6 人

14 支援費収入 (円)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
3,782,371	4,367,236	3,911,807	4,335,143	4,183,284	4,012,033
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
4,440,697	3,839,355	3,784,764	3,437,601	3,534,540	4,035,790
計					47,664,621

令和 5 度 41,022,899 円

15 事業別収入

別紙「令和 6 度事業別収支の内訳 (就労継続支援 B 型)」のとおり

16 利用者工賃

年間工賃合計 6,327,636 円

平均工賃 (「年間の工賃支払総額」÷「開所日 1 日当たりの平均利用者数」÷12 ヶ月)

月額 31,575 円 (令和 5 年度 25,655 円)

<参考>

令和 5 年度平均工賃 (厚生労働省調査資料より)

愛知県 月額 24,766 円 (4 年度 月額 18,173 円)

全国平均 月額 23,053 円 (4 年度 月額 17,031 円)

17 就労支援

※ 利用者3人を就職させることができた。

就労支援の状況

対象者	就職 年月日	就労場所	日時	支援状況
25 歳女性	5 年 12 月 1 日	半田郵便局	R6.4.24(水)	郵便局訪問、定着支援
			R6.6.28(金)	郵便局訪問、定着支援
			R6.9.12(木)	郵便局訪問、定着支援
31 歳男性	6 年 2月2日	ツカサ工業	R6.4 月～5 月	週 4 日勤務しながら週 1 日きずな利用
			R6.4.18(金)	会社訪問、定着支援
			R6.5.9(木)	会社訪問、定着支援
			R6.5.31(金)	きずな利用終了
			R6.6.24(月)	会社訪問、定着支援
			R6.7 月～	定期的にきずなに来所してもらい、支援継続中
29 歳女性	6 年 11 月 1 日	クラシカフェ	R4.3 月～ R6.10 月	施設外支援という形で週 2～4 日勤務 、週 1～3 日きずな利用
			R6.11 月～	カフェに月水金納品に行った際に、勤務状況を確認
34歳男性	6 年 11 月 1 日	S2I(株) (東浦町)	R6.6.25(火)	障がい者雇用フォーラム参加(同行)
			R6.9.4(水)	職場見学(同行)
			R6.10.17(木)	職場実習(3 日間)後の振り返り(同行)
			R6.10.24(木)	面接(同行)
			R6.11 月～12 月	週 4 日勤務しながら週 1 日きずなを利用
			R6.12.27(金)	きずな利用終了
			R7.1 月～	定期的に電話連絡、きずなに来所してもらい 支援継続中
53 歳男性	7 年 1 月 1 日	マルスフー ドショップ (株)	R6.7.8(月)	面接(同行)施設外支援という形で週 4 日勤務、 週 1 日きずな利用
			R6.8.20(火)～ 24(土)	実習、実習振り返り(同行)
			R6.9.10(火) ～12 月	施設外支援という形で週 3 日勤務、週 2 日きずな 利用(月に1～2度訪問、勤務状況を確認)
			R6.12.27(金)	きずな利用終了
			R7.1 月～	月に1回マルスにて本人、店長と面談
49 歳男性		職員駐車場	R5.11 月～	施設外支援という形で、半田市職員駐車場で 週 1 回勤務
21 歳女性			R6.6.25(火)	障害者雇用フォーラム参加(同行)

			R6.7.12(金)	テイクアウト久田(常滑市)見学(同行)
			R6.9.5(木)	実習前準備講座参加(同行)
			R6.10.4(金)	テイクアウト久田(常滑市)実習打ち合わせ(同行)
			2024/10/22(火) ～24(木)	テイクアウト久田(常滑市)実習、振り返り(同行)
35 歳女性			R6.6.25(火)	障害者雇用フォーラム参加(同行)

※ この他就労に近い利用者を対象に、毎月 1 回ビジネスマナー研修を実施

ビジネスマナー研修：一般就労を目指す利用者を対象にサービス管理責任者が講師となり、「挨拶の仕方」「声の出し方」「面接の練習」を始め、就労に必要なマナー全般についての勉強会

18 寄 附

寄 附 日	寄 附 者	寄附目的	寄付金額等
令和 6 年 10 月 1 日	石川 公雄	通信費	はがき 30 枚、切手 110 円×80 枚
令和 7 年 1 月 7 日	共同募金	パソコン 2 台	360,000 円

※敬称略